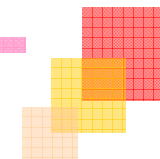


第13回 岸和田市丘陵地区整備機構準備会
～ これまでの振り返り ～
総括

平成26年3月5日

岸和田市丘陵地区整備機構準備会

1. 岸和田丘陵地区のこれまでの経過と今後の予定



平成18年度 岸和田市丘陵地区整備計画検討委員会の設立

平成20年度 岸和田市丘陵地区整備計画基本構想の策定
岸和田市丘陵地区整備機構協議会の設立

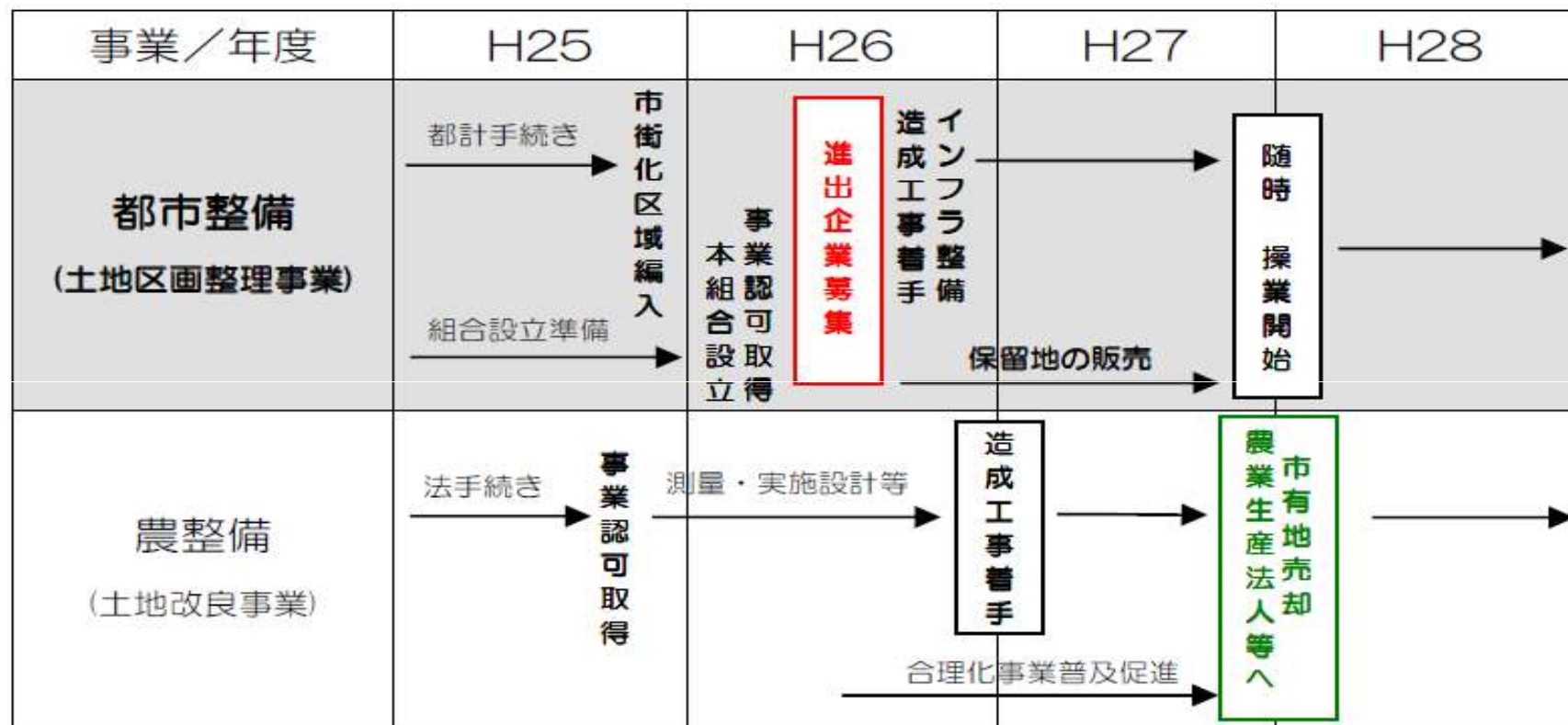
平成22年度 岸和田市丘陵地区まちづくり基本計画の策定
岸和田市丘陵地区整備計画素案の作成
岸和田市丘陵地区整備機構準会の設立

平成23年度 岸和田丘陵地区まちづくり協議会の設立
全地権者に事業参加意向調査の実施

平成24年度 岸和田丘陵地区農整備事業推進委員会の設立
岸和田丘陵土地区画整理準備組合の設立

平成25年度 交換分合事業の完了（土地交換完了）

1. 岸和田丘陵地区のこれまでの経過と今後の予定



2. まちづくりに向けた組織について

地元組織について(丘陵地区全体を総括)

▶ 岸和田丘陵地区まちづくり協議会の発足(H23.8.7)

■ 会員数(地権者数)・・・406名

■ 役員数・・・36名

（会長：1名、副会長6名、
会計2名、運営委員27名）

■ 規約を定め、総会による意思決定を行うなど、事業実施に向けた具体的な取り組みを地権者主体により推進する体制を整える。

<http://kishiwadamachikyo.com/>

**岸和田丘陵地区
まちづくり協議会新聞**

創刊号
2011年8月

岸和田丘陵地区まちづくり協議会が発足！



8月7日(日)午後2時より、岸和田市立山直市民センター2階会議室において、(仮称)「岸和田丘陵地区まちづくり協議会」(以下、略称：丘陵地区まち協と称します)の設立総会が行なわれ、岸和田丘陵地区まちづくり協議会が正式に発足しました。

設立総会は本人出席 61 名、本人の委任状による代理出席及び書面での議決権行使書による出席が 198 名の計 259 名が出席し、正会員 406 名の過半数に達し、有効に成立しました。次いで事務局からの提案、第 1 号議案「設立について」、第 2 号議案「規約について」、第 3 号議案「役員選出について」、第 4 号議案「活動方針について」を審議し、賛成多数で可決しました。

『地権者主体』へと丘陵地区整備事業の転換点を迎えました

平成 17 年度から「岸和田コスモポリス事業地権者協議会」が岸和田市と協議して岸和田丘陵地区の事業計画策定を行ってきました。「丘陵地区まち協」の設立によって今後、地権者が主体となって、都市整備エリア、農整備エリア、また自然保全地を含む丘陵地区のまちづくりに関する事業化に向けた検討とともに、事業実施に向けた具体的な取り組みを進めていくことになりました。

1

2. まちづくりに向けた組織について

事業推進組織の設立(都市整備)

➤ 岸和田丘陵土地区画整理準備組合発足(H24.9.2)

■ 地域産業の活性化を促すよう企業誘致により雇用人口及び定住人口の確保を行うために、土地区画整理事業を実施する組合の設立を目指す。

■ 事業内容

土地区画整理事業(宅地・道路・上下水道・公園緑地整備等)

地区面積約44ha

■ 事業参加地権者数・・・244名(発足当時)

■ 役員数・・・18名

（理事長：1名、副理事長：2名、
理事：14名、監事：1名）



地権者説明会の様子

2. まちづくりに向けた組織について

事業推進組織の設立(農整備)

➤ 岸和田丘陵地区農整備事業推進委員会の発足(H24.8.2)

■ 農業生産基盤の強化、新たな担い手の確保や地産地消の推進を行い、強い農業づくりを行う。

■ 事業内容

土地改良事業(農地、農道、水路(パイプライン)整備等)

地区面積約34ha

■ 事業参加地権者数・・・108名(発足当時)

■ 役員数・・・12名

会長:1名、副会長:1名
役名:10名



先進地視察の様子

3. 機構の役割と組織イメージ

図.整備機構の役割と責任・資金のイメージ

